

公表 者等からの児童発達支援事業所評価の集計結果

令和8年 3月 2

公表日 7日

利用児童

数 18

回収数 13

事業所名	チェック項目					ご意見	ご意見を踏まえた対応
		はい	どちらとも いえない	いいえ	わからない		
環境・ 体制 整備	1 子どもの活動等のスペースが十分に確保されていると思いますか。	11	1				安全に利用することができるように継続してまいります。
	2 職員の配置数は適切であると思いますか。	12			1		今後も適切な配置を行います。保護者様にもわかりやすいよう周知してまいります
	3 生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっていると思いますか。また、事業所の設備等は、障害特性に応じて、バリアフリー化や情報伝達等への配慮が適切になされていると思いますか。	11	1				必要に応じた環境設定を継続してまいります。
	4 生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっていると思いますか。また、こども達の活動に合わせた空間となっていると思いますか。	13					環境設定、清掃を欠かさず清潔を保持してまいります。
適切 な支 援の 提供	5 こどものことを十分に理解し、こどもの特性等に応じた専門性のある支援が受けられていると思いますか。	13					今後も研修や自己研鑽に精進し専門性のある支援を行ってまいります。
	6 事業所が公表している支援プログラムは、事業所の提供する支援内容と合っていると思いますか。	12			1		今後も継続してまいります。
	7 こどものことを十分理解し、こどもと保護者のニーズや課題が客観的に分析された上で、児童発達支援計画（個別支援計画）が作成されていると思いますか。	13					今後も定期的なモニタリング、アセスメントを実施し継続してまいります。
	8 児童発達支援計画には、児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」で示す支援内容からこどもの支援に必要な項目が適切に選択され、その上で、具体的な支援内容が設定されていると思いますか。	13					今後も継続してまいります。
	9 児童発達支援計画に沿った支援が行われていると思いますか。	12			1		引き続き、支援計画に沿った支援を行ってまいります。
	10 事業所の活動プログラムが固定化されないよう工夫されていると思いますか。	12			1		新たな活動内容を検討してまいります。
	11 保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、その他地域で他のこどもと活動する機会がありますか。	6	2		5		検討してまいります。
保 護 者 へ の 説 明 等	12 事業所を利用する際に、運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明がありましたか。	13					今後も継続してまいります。
	13 「児童発達支援計画」を示しながら、支援内容の説明がなされましたか。	13					今後も継続してまいります。
	14 事業所では、家族に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)や家族等も参加できる研修会や情報提供の機会等が行われていますか。	7	2		4		ペアレントトレーニングは要望があれば検討してまいります。
	15 日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの健康や発達の状況について共通理解ができていると思いますか。	13					今後も継続してまいります。
	16 定期的に、面談や子育てに関する助言等の支援が行われていますか。	13					随時、悩み等の相談に応じている。今後も継続してまいります。
	17 事業所の職員から共感的に支援をされていると思いますか。	13					今後も継続してまいります。
18 父母の会の活動の支援や、保護者会等の開催等により、保護者同士の交流の機会が設けられるなど、家族への支援がされているか。また、きょうだい向けのイベントの開催等により、きょうだい同士の交流の機会が設けられるなど、きょうだいへの支援がされていますか。	1	1	3	8		イベントなどの開催を行うなど検討していく。	
19 こどもや家族からの相談や申入れについて、対応の体制が整備されているとともに、こどもや保護者に対してそのような場があることについて周知・説明され、相談や申入れをした際に迅速かつ適切に対応されていますか。	12	1				相談依頼があれば迅速に対応します。また、保護者に周知できるようSNSの使用をしてまいります。	

	20	子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮がなされていると思いますか。	13				LINEや媒体の使用、送迎時の情報伝達、確認を継続していく。
	21	定期的な通信やホームページ・SNS等で、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報や業務に関する自己評価の結果を子どもや保護者に対して発信されていますか。	10		3		今後、SNSの利用を検討しています。
	22	個人情報の取扱いに十分に留意されていると思いますか。	13				鍵付きロッカーに保管し、社用携帯や個人情報の持ち出しの禁止は徹底している。
非常時等の対応	23	事業所では、事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、初犯マニュアル、感染症対応マニュアル等が策定され、保護者に周知・説明されていますか。また、発生を想定した訓練が実施されていますか。	11		2	SNS等で訓練実施の報告があるとより安心できると思います	SNSを活用しマニュアルがあること、訓練実施の周知や説明を行う。
	24	事業所では、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練が行われていますか。	10		3		継続して行うと共に、保護者への周知を徹底します。
	25	事業所より、子どもの安全を確保するための計画について周知される等、安全の確保が十分に行われた上で支援が行われていると思いますか。	13				継続して支援していきます。
	26	事故等（怪我等を含む。）が発生した際に、事業所から速やかな連絡や事故が発生した際の状況等について説明がされていると思いますか。	13				発生時は速やかに状況や対応を連絡することを継続していく。
満足度	27	子どもは安心感をもって通所していますか。	13				今後、安心して通っていただけるよう、環境設定を整えていきます。
	28	子どもは通所を楽しみにしていますか。	13			子どもはいつもはりきって通っています。いつもありがとうございます。	引き続き、楽しんで通っていただけるよう工夫していきます。
	29	事業所の支援に満足していますか。	13				今後も支援の質の向上のための研修を定期的に行っていきます。

公表	児童発達支援事業所における自己評価総括表
----	----------------------

○事業所名	エラマーチきっず		
○保護者評価実施期間	令和8年 2月 17日		～ 令和8年 2月 28日
○保護者評価有効回答数	(対象者数)	18	(回答者数) 13
○従業者評価実施期間	令和8年 2月 17日		～ 令和8年 2月 28日
○従業者評価有効回答数	(対象者数)	8	(回答者数) 8
○事業者向け自己評価表作成日	令和8年 3月 1日		

○ 分析結果

	事業所の強み(※)だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	環境設定。	特性や子どもの発達に併せたプログラムの設定と共に個別での対応や遊びスペースお仕事スペースなど活動に応じた環境の設定。	絵カードや視覚支援の提示。
2	の保護者や関係機関との連携、情報共有。	積極的に保育所等訪問を実施している。	多職種スタッフによる多角的な視点からの専門的な支援の実施。
3	積極的な外部研修への参加。	提携クリニックが開催している研修会や、WEBでの研修などに積極的に参加している。	事業所内研修のさらなる強化、外部での研修への参加保護者会やペアレントプログラムの実施。

	事業所の弱み(※)だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	保護者会やペアレントトレーニングの実施。	保護者からの要望がない。	チラシやポスターの作成、SNSの活用で保護者へ周知する。
2	地域との交流。	自主的な働きかけや、催しの情報が入ってこない。	地域の情報誌やSNS、交流会へのさらなる参加、地域の催事への積極的な参加、交流。
3	活動や課題のバリエーションが少ない。	季節の行事や活動などの提供は行っているが、日々の活動でのおもちゃや自立課題が固定化してきている。定期的な新しい課題の作成や提供を行うことで利用児の課題や発達の状況を知ることができると考えられる。	自立課題の作成に取り組める時間を設ける。

公表

児童発達支援事業所における自己評価結果

事業所名		公表日				
エラマーチきつず		令和8年 3月 27日				
	チェック項目			工夫している点	課題や改善すべき点	
		はい	いいえ			
環境・体制整備	1	利用定員が発達支援室等のスペースとの関係で適切であるか。	8		定員数に合った広さで療育が行えている。	規定に基づきおこなっている。
	2	利用定員やこどもの状態等に対して、職員の配置数は適切であるか。	8		人員配置基準に準じた配置ができています。	規定に基づき配置している。
	3	生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっているか。また、事業所の設備等は、障害の特性に応じ、バリアフリー化や情報伝達等、環境上の配慮が適切になされているか。	8		お仕事、余暇、個別、それぞれのスペースをわかりやすく配置設定している。	現時点での改善点は特になし。
	4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、こども達の活動に合わせた空間となっているか。	8		毎朝の、掃除、消毒を徹底している。	引き続き、日々の清掃、消毒に加え、整理整頓を徹底する
	5	必要に応じて、こどもが個別の部屋や場所を使用することが認められる環境になっているか。	8		個室やカームダウンエリアが使用できるようになっている。	適宜、状況に応じて、必要な場所への移動を促していく。
業務改善	6	業務改善を進めるためのPDCAサイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参画しているか。	8		昼礼や定期的なミーティングに加え、随時、情報共有を行っている。	スタッフ同士が話しやすくなる空間づくりに努める。
	7	保護者向け評価表により、保護者等の意向等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	8		昼礼や定期的なミーティングに加え、随時、情報共有を行っている。	今後も指摘を踏まえた改善案を作成し、期限を決めて修正する。
	8	職員の意見等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	8		事業所内において悩みや意見などの聞き取りを行っており、その内容を業務改善につなげている。	今後も指摘を踏まえた改善案を作成し、期限を決めて修正する。
	9	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか。		8	現在は第三者委員は設けていない。	現在のところ行ってないが、今後は必要に応じて導入を検討し、業務改善に努める。
	10	職員の資質の向上を図るために、研修を受講する機会や法人内等で研修を開催する機会が確保されているか。	8		定期的な事業所内での研修や、外部の研修に参加している。	今後はスタッフの要望も取り入れていく。
適切な支援の提供	11	適切に支援プログラムが作成、公表されているか。	8		作成、公表し、スタッフや保護者へ周知している	今後はSNSを使用した公表も行っていく。
	12	個々のこどもに対してアセスメントを適切に行い、こどもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、児童発達支援計画を作成しているか。	8		多職種スタッフにより専門的なアセスメントを行い作成している。	左記の内容を継続し、適切な支援計画の作成を行っていく
	13	児童発達支援計画を作成する際には、児童発達支援管理責任者だけでなく、こどもの支援に関わる職員が共通理解の下で、こどもの最善の利益を考慮した検討が行われているか。	8		担当スタッフの意見をもとに児童発達支援管理責任者が作成した後、スタッフ全員で会議を行った際の意見をもとに作成している。	今後も左記の内容に沿って適切な支援計画の作成を行っていく。
	14	児童発達支援計画が職員間に共有され、計画に沿った支援が行われているか。	8		支援計画を全職員に共有し、目標達成に向けた支援を行っている。	発達段階を考慮し楽しみながらできる支援を意識し行っていく。
	15	こどもの適応行動の状況を、標準化されたツールを用いたフォーマルなアセスメントや、日々の行動観察なども含むインフォーマルなアセスメントを使用する等により確認しているか。	8		所定のアセスメントシートの使用、適応行動の状況を確認、園や学校での様子を踏まえ支援の継続や方向性の変更を検討している。	左記内容を継続し、随時、アセスメントの追加修正を行っていく。
	16	児童発達支援計画には、児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」及び「地域支援・地域連携」のねらい及び支援内容も踏まえながら、こどもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか。	8		支援のねらい及び支援内容を踏まえながら、一人一人のこどもに設定した目標を適切に設定した上で、具体的な支援内容を設定している。	左記の内容を継続し、適切な支援計画の作成を行っていく。
	17	活動プログラムの立案をチームで行っているか。	8		季節の行事や利用児の発達に合わせた立案を行っている。	固定化しないよう新しいプログラムを考案していく。
	18	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか。	8		全職員で立案、検討してプログラムを作成している。	固定化しないよう新しいプログラムを考案していく。
	19	こどもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせる児童発達支援計画を作成し、支援が行われているか。	8		発達状況や、日々のアセスメントを通して必要や活動を提供している。	成長に伴い変化する課題やニーズに沿って個別活動と集団活動を組み合わせる支援計画に反映させ、支援を行っていく。
	20	支援開始前には職員間で必ず打合せを行い、その日行われる支援の内容や役割分担について確認し、チームで連携して支援を行っているか。	8		毎日の昼礼に加え、随時、役割を確認、分担して行っている。	昼礼の重要性を意識し、保護者からの連絡や振り返りを踏まえた情報伝達を行う。

	21	支援終了後には、職員間で必ず打合せを行い、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか。	8		終礼にて支援の振り返りを行い、成長点 問題点・改善点等話し合い、情報共有している。	左記内容で継続していく。
	22	日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか。	8		ケース記録、を記入し、全スタッフでの共有 支援の検証、改善、向上につなげている。	左記内容で継続していく。
	23	定期的にモニタリングを行い、児童発達支援計画の見直しの必要性を判断し、適切な見直しを行っているか。	8		定期的なモニタリングに加え、 必要に応じて行っている。	今後も、適宜、追加修正を行う。
関係機関や保護者との連携	24	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議や関係機関との会議に、そのこどもの状況をよく理解した者が参画しているか。	8		基本、児童発達支援管理責任が担当者会議に出席しているが、 出席が難しい時はそれに準ずる職員が参画している。	左記内容で継続していく。
	25	地域の保健、医療（主治医や協力医療機関等）、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携して支援を行う体制を整えているか。	8		必要に応じて連絡を取り、連携して支援を行えるよう努めている。	左記内容で継続していく。
	26	併行利用や移行に向けた支援を行うなど、インクルージョン推進の観点から支援を行っているか。また、その際、保育所や認定こども園、幼稚園、特別支援学校(幼稚園部)等との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか。	8		保育所等訪問を通しての情報共有や、保護者との情報共有を随時行っている。	左記内容で継続していく。
	27	就学時の移行の際には、小学校や特別支援学校(小学部)との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか。	8		必要に応じて連絡を取り、情報共有と相互理解に努めている。	左記内容で継続していく。
	28	(28～30は、センターのみ回答) 地域の他の児童発達支援センターや障害児通所支援事業所等と連携を図り、地域全体の質の向上に資する取組等を行っているか。				
	29	質の向上を図るため、積極的に専門家や専門機関等から助言を受けたり、職員を外部研修に参加させているか。				
	30	(自立支援)協議会こども部会や地域の子ども・子育て会議等へ積極的に参加しているか。				
	31	(31は、事業所のみ回答) 地域の児童発達支援センターとの連携を図り、必要に応じてスーパーバイズや助言等を受ける機会を設けているか。	8		現在は児童発達支援センターとの連携や助言等を受ける機会を設けていない。	現在は機会を設けていないため、今後は連携を図り、必要に応じて助言等を受ける体制を整えていく
	32	保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、地域の中で他のこどもと活動する機会があるか。	8		現在は交流機会を設けていない。	現在は機会を設けていないため、保育所や幼稚園等、地域の他のこどもと幅広く交流する機会を作っていけるよう検討していく。
	33	日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか。	8		日々の様子を写真と共に共有している。	左記内容で継続していく。
保護者への説明等	34	家族の対応力の向上を図る観点から、家族に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)や家族等の参加できる研修の機会や情報提供等を行っているか。	8		情報提供は行っている。研修については 要望があれば実施する。	要望があれば行っていく。
	35	運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか。	8		契約時に必ず行っている。	左記内容で継続していく。
	36	児童発達支援計画を作成する際には、こどもや保護者の意思の尊重、こどもの最善の利益の優先考慮の観点から踏まえて、こどもや家族の意向を確認する機会を設けているか。	8		定期的な面談を行い意向を確認している。	左記内容で継続していく。
	37	「児童発達支援計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から児童発達支援計画の同意を得ているか。	8		更新時には必ず内容の説明を行い了承後に サインを頂いている。	左記内容で継続していく。
	38	定期的に、家族等からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、面談や必要な助言と支援を行っているか。	8		必要時には面談や電話での対応を行い、 助言や支援を行っている。	左記内容で継続していく。
	39	父母の会の活動を支援することや、保護者会等を開催する等により、保護者同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。また、きょうだい同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。	8		父母の会の支援や保護者会等は行っていない。	必要に応じて機会を設けていく。
	40	こどもや保護者からの相談や申入れについて、対応の体制を整備するとともに、こどもや保護者に周知し、相談や申入れがあった場合に迅速かつ適切に対応しているか。	8		対応している。	左記内容で継続していく。
	41	定期的に通信等を発行することや、HPやSNS等を活用することにより、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報をこどもや保護者に対して発信しているか。	8		SNSを利用し発信している。	日々の更新を継続していく。

非常時等の対応	42	個人情報の取扱いに十分留意しているか。	8	個人情報書類の厳重な保管（鍵付きロッカーや金庫）及び社外（退職者含む）への持ち出しや情報漏えいを固く禁じている。	左記内容で継続していく。
	43	障害のある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか。	8	端的な言葉や視覚的支援等の配慮を行っている。	左記内容で継続していく。
	44	事業所の行事に地域住民を招待する等、地域に開かれた事業運営を図っているか。	8	地域住民の招待は行っていない。	地域住民へのチラシの配布等を行い、行事への招待等、開かれた事業運営を行っていく
	45	事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や家族等に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか。	8	各マニュアルを策定して事業所内に掲示し、全職員職員に周知するとともに、定期的実践研修も行っている。	保護者への各マニュアルの周知を行っていく。
	46	業務継続計画（BCP）を策定するとともに、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか。	8	BCPを策定し、年二回以上、職員と子どもで災害時に備えて避難訓練を行っている。また、消防署員による訓練も受けている。	左記の内容で継続しつつ、策定したマニュアルを定期的に見直し、対応手順等を念頭に置いておくことで災害時に迅速的確な行動ができるようにする。
	47	事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等のこどもの状況を確認しているか。	8	契約時には必ず確認し、その後に発症または服薬の変更等があれば都度伝達してもらい、対応方法等を確認している。	左記の内容で継続し、全職員への周知を徹底していく。
	48	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか。	8	契約時や都度保護者からの伝達を受け、指示に基づく対応を行っている。	左記の内容で継続し、全職員への周知を徹底していく。
	49	安全計画を作成し、安全管理に必要な研修や訓練、その他必要な措置を講じる等、安全管理が十分された中で支援が行われているか。	8	災害発生時、事故発生時等の対応や室内及び送迎における事故防止についての研修を行い、安全管理に努めながら支援を行っている。	左記研修を定期的に行い、振り返りまで徹底することを継続し、安全管理に努めている。
	50	こどもの安全確保に関して、家族等との連携が図られるよう、安全計画に基づく取組内容について、家族等へ周知しているか。	8	定期的に避難訓練を行っていること、送迎時の置き去り防止対策、施錠の徹底、災害時連絡票の管理等伝えている。	左記の内容を継続した上で、更に保護者の不安軽減のために必要な情報は周知していく。
	51	ヒヤリハットを事業所内で共有し、再発防止に向けた方策について検討をしているか。	8	ヒヤリハット報告書をもとに全職員で共有、改善案を周知及び会議でも話し合っている。	左記内容で継続していく。
52	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか。	8	社内及び社外研修にて全職員が学ぶ機会を設けている。また、新入社員研修でも必ず行っている。	左記内容で継続していく。	
53	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し理解を得た上で、児童発達支援計画に記載しているか。	8	契約時の説明に加え、支援計画にも記載している。	左記内容で継続していく。	